

総務委員会資料

殿町国際戦略拠点（キング スカイフロント） について

資料 殿町三丁目土地区画整理事業の進捗状況

資料 (仮称) 産学公民連携研究センター計画概要

資料 (仮称) 産学公民連携研究センター施設概要

参考資料 殿町国際戦略拠点キング スカイフロントパンフレット

参考資料 平成24年度臨海部活性化シンポジウムチラシ

参考資料 横浜・川崎 臨海部工場立地図

平成24年10月19日
総合企画局

殿町三丁目土地区画整理事業の進捗状況

1. 事業概要

○ 基本的な事項

- ① 事業の名称 : 殿町三丁目土地区画整理事業
- ② 施行者 : 都市再生機構、川崎市
- ③ 施行区域、面積 : 約 22.7ha
- ④ 施行期間 : H22.3(施行の認可公告の日)～H25.9

2. 進捗状況

○ H22年度の主な取り組み

【土地区画整理事業関連】

- ・ 事業計画の変更、規約の認可(H23.3.24 変更認可)

【基盤整備工事関連】

- ・ 区画道路 : 中核施設までのライフライン敷設工事
- ・ 公園整備 : 既存公園施設の撤去(殿町第2公園、下河原公園)
- ・ 周辺環境工事 : 防音型鋼板塀の設置、仮設調整池 等

○ H23年度の主な取り組み

【基盤整備工事関連】

- ・ 区画道路 : 道路・ライフライン敷設工事(L=300m)
*中核施設までの道路工事完了(6月)
- ・ 公園整備 : 殿町第2公園既存部分改修工事
下河原公園改修工事
- ・ 市道改良 : 殿町23、34号線改良工事
- ・ 交差点改良 : 下河原児童公園前交差点改良工事

○ H24年度計画

【基盤整備工事関連】

- ・ 区画道路 : 道路・ライフライン敷設工事(L=440m)
- ・ 公園整備 : 殿町第2公園拡張部分整備工事
- ・ 交差点改良 : 東側交差点新設整備工事

○ H25年度計画

【土地区画整理事業関連】

- ・ 終了認可に向けた手続き等

3. 年度別工事展開状況



設計コンセプト



研究所らしさを表象するデザイン

ライフサイエンスの街づくりの核となる施設として、試験管を想起させるスリット状の開口部や、薬箱を想起させる引き出し状の外観デザインにより、研究所らしさを表現。



多摩川、羽田空港を望む開放的リフレッシュスペースを創出

建物中央部分に、多摩川に開けた吹き抜け、テラスを設け、リフレッシュと研究者同士のコミュニケーションのための光溢れる心地よい空間を創出。



最先端技術の採用

省エネ技術



太陽光発電パネル

クリーンエネルギーによる、CO₂削減と省エネ。



地中熱利用空調

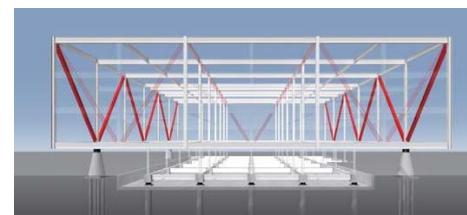
年中安定した地中の熱を利用した空調システム。

T-zone-saver (人検知によるゾーン環境制御)

人の在・不在をゾーンごとに検知し、照明・空調を自動制御。(事務室に採用)



BCP対策



キューピクルを屋上に設置

建物の最も高い位置にキューピクルを設置することにより、洪水、津波による停電を防止。

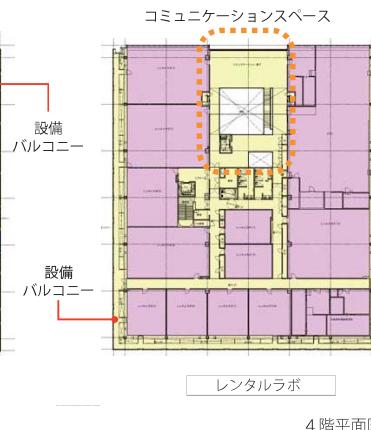
変電所からの引き込みルートを二重化

引込ルート上で万一の事故の場合も予備のルートが確保されており、停電リスクを回避。

非常用発電により実験機能を維持

実験機器（試料保存のための冷蔵庫、冷凍庫等）に対する電源を最大6時間バックアップ。

概要



敷地面積	6999.93 m ²
建築面積	3110.63 m ²
延床面積	10985.86 m ²
最高高さ	21.38 m
階数	地上4階塔屋1階
用途	研究所
構造	鉄骨造（一部RC造）基礎免震、柱頭免震

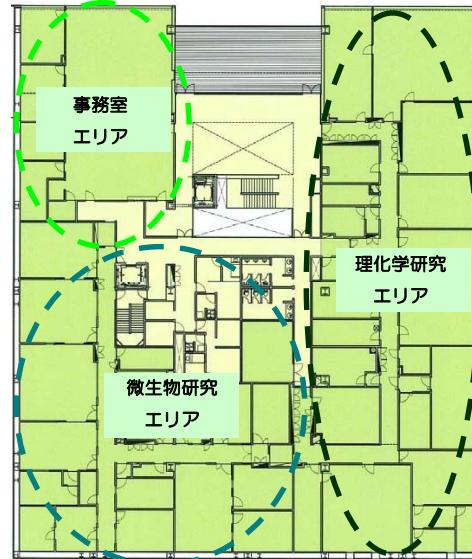
(仮称) 産学公民連携研究センター施設概要

【1階 共用施設】



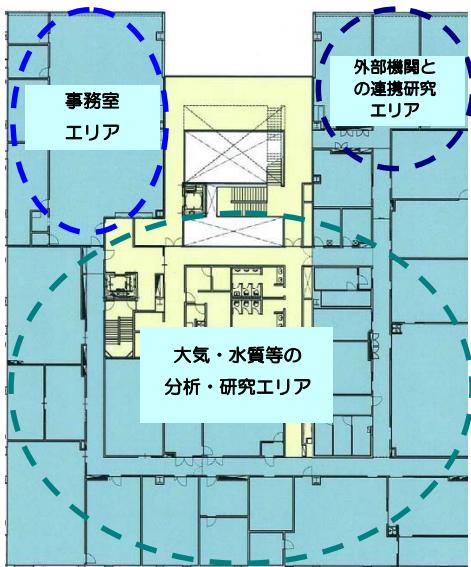
ホール（会議室）や交流ラウンジなど、拠点に立地する企業、大学等による情報発信、研究開発機関相互の交流・連携や市内の企業・研究開発機関との共同研究等の促進を図るための施設

【2階 健康安全研究所】



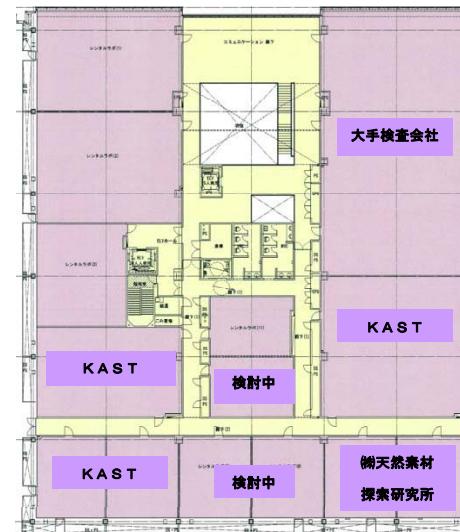
市民の健康危機管理機能の強化に向け、重要かつ緊急な課題である感染症対策、食の安全・安心、環境衛生対策、医薬品対策等に対応するため、今後拠点に集積する先端研究機関との連携等により、既存の「川崎市衛生研究所」の機能を高度化し、市民の健康を守る施設

【3階 環境総合研究所】



- 川崎市公害研究所、川崎市公害監視センター及び川崎市環境技術情報センターの既存3施設を統合し、機能を高度化する施設
 - 「国立環境研究所」や国連環境計画（UNEP）等をはじめとする産学公民の連携を深めるとともに、公害克服に向けた努力の中で培われた川崎市及び日本の優れた環境技術を活かし、より広範な環境研究・開発を目指して、環境分野における国際貢献と地域の活性化を図る拠点として整備

【4階 レンタルラボ】



羽田空港との近接性や京浜臨海部のポテンシャル、先端研究機関との連携機能等を活かし、環境技術、ライフサイエンス分野の高度な先端技術等を有する研究開発機関、企業、大学等が入居する施設として整備し、事業者が研究開発機関、企業、大学等を誘致